

第83号

令和2年
9月1日
発行

ボランティア・協働情報紙 ～まなびとボランティアをサポートする～

まなぼら



『親子で防災体験』ランタン作りの様子

Contents

特集

本当に大丈夫ですか？命を守るための“備え”

元気人

防府市防災士等連絡協議会 藤井 勉 さん

防府市生涯学習課のイチオシ

- 『放課後子ども教室』を紹介します！
- 報告♪ほうふ幸せます人材バンク

防府市社会福祉協議会のイチオシ

- 被災地を救おう！令和2年7月豪雨災害義援金の募集について
- ボランティアコーナー

防府市市民活動支援センターのイチオシ

- フードバンク山口 ほうふステーション開設！



本当に大丈夫ですか？

命を守るための “備え”

自ら取組む「自助」

詳しくは、各世帯に配布されている防災ファイルをご確認ください。

避難するための準備をしよう

市が発行しているハザードマップ、防災ハンドブックで、災害時の危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。また、非常時に持ち出すバックを作って避難に備えましょう。詳しくは、防災マニュアルやホームページをご覧ください。



編集部
pick up



「雨が強くて外に出るのが不安。それでも避難場所まで行った方がいいのかな…」状況によっては、避難所に行けるとは限りません。そんな時のために、日頃から家の近くで、緊急時に避難できる場所を見つけておくといいそうです。例えば、“あのアパートの階段の踊り場”などです。台風など、あらかじめ災害の危険がわかっている場合は、安全なマンションなどに友人がいれば、そこで過ごさせてもらうのもありだそうです。(ホテルでもOK！)

編集部
pick up



非常持ち出し品は、“生活に必要な物 1 日分”が基本。その他、忘れてはいけないものは、懐中電灯と小型ラジオ！懐中電灯は 1 人 1 本あるといいとのこと。また、好みのおやつなど、自分を癒す物もあるといいそうですよ。

避難情報等入手しよう

メールサービス

携帯電話やインターネットメールを利用し、事前に登録されたアドレスに防災情報や気象情報を配信します。

e-hofu@xpressmail.jp へ件名・本文を入力せずに送信→案内 URL に沿ってメールアドレスを登録



緊急告知ラジオ

市から防災行政無線で防災情報や緊急情報を放送した際、自動起動し、最大音量で放送します。

費用：1 台あたり 2,000 円（自己負担）

電話・FAX 配信サービス

事前に登録された方に自動で配信します。

対象：75 歳以上の方、身体障害者手帳をお持ちの方

防府市防災行政無線

誰でも無料で利用できます。

TEL 0800-200-2446

(IP 電話の場合 0800-200-2447)

編集部
pick up



『防府市防災行政無線』は、災害情報を聞き逃しても、電話をかければいつでも聞き直すことができます。

危険な状況になると判断される場合は、避難情報に拠らず自らの判断により、避難するなどの行動を起こしましょう！

もしもの時に連絡できる相手を見つけよう

災害時での、いざという時のために、誰に相談するのか想定しておきましょう。もしもの時は、市防災危機管理課にご相談ください。

【防災危機管理課】TEL 25-2115

『防府市防災気象情報』をチェックしよう

防府市の雨量・水位観測データや気象情報、台風情報、土砂災害警戒区域など気象や災害に関するすべての情報を確認することができます。



今年7月、九州や中部地方を中心に豪雨災害が発生しました。防府市でも、歴代3番目に多い雨量を記録しました。新型コロナウイルス感染症の不安がある中、危機感を持たれた方も多いのではないのでしょうか。

いざという時、自分と自分の周りの人の命を守るためには、災害発生時のあらゆる場面の想定と、具体的な行動の備えが必要です。

今号では、防府市防災危機管理課の八尾亮一さんにお聴きした防府市の防災に関する基本情報と、まなぼら編集部が、八尾さんのお話の中で特に実践したいと思った内容をご紹介します！さらに、市内で開催された防災体験などのイベントの様子も取材してきました！



災害の中でも土砂災害で亡くなる方が多いうって聞いたボラン

山口県は、土砂災害警戒区域が全国で5番目に多いらしいニャー



地域で協力して取組む「共助」

日頃から、地域のつながりを大切にしよう！

災害時には、自治会単位での行動が多くなります。近所や自治会に知り合いのいない人は、日頃から自治会の行事やイベントに行き、地域の人と顔見知りになっておくと、いざという時、本当に心強いです！

編集部
pick up



「一人暮らしで、子どもを通したつながりもなく、行事に参加する勇気が出ない…」でも実は、若い世代がそういった場に顔を出すだけで、とても喜ばれるそうです。「どこに住んじよるんかね？」などと、楽しく会話をしているうちに、顔を覚えてもらっておくと、安心。

松崎地区『地域食堂&親子で防災体験』の取組紹介

8月1日（土）、松崎地区で活動する『まつぼっくりの会』と『松崎地区防災士等連絡協議会』が、国衛会館にて『地域食堂&親子で防災体験』を開催しました。災害時、特に必要となる地域のつながりづくりはもちろん、協働で開催することによる地域力の向上、感染症対策を取り入れた地域食堂のあり方の模索といった目的で実施しました。

フードバンクを活用して準備された晩ごはんを食べた後、防災士の方によるレクチャーやクイズ、段ボールベッド作り、ランタン作り、三密を回避した避難所体験など、盛りだくさんの内容で開催されました。

段ボールベッド作りでは、高学年が低学年の児童に作り方を教えたり、大人からヒントをもらったりしながら、みんなで協力して作る姿がとても印象的でした。



もしも **災害** が起こったら・・・？～新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難～

防府市では、避難所における新型コロナウイルス感染拡大を防止するため次の対策に努めています。

- 手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底
- 要配慮者（妊婦・基礎疾患のある方など）のための**ホテルなどの客室活用**
- 十分な換気やスペースの確保（**避難所へパーテーションを配布**）
- 衛生環境の確保（**共用部分の消毒や避難所への消毒液、マスクの配布**）

住民のみなさまには・・・

①親戚や友人宅などへの避難を検討 ②在宅避難の検討 ③手洗い・咳エチケットなどの基本的な対策の徹底
これらを検討した上で判断していただければと思います。



藤井 勉 さん

Fuji Tsutomu



防府市防災士等連絡協議会

藤井さんは、牟礼^{うけの}浮野出身の79歳。30代で自治会の体育部長を務めたのを皮切りに、平成15年に自治会長（4期）、平成22年に民生委員（3期）を歴任。平成21年7月、浮野に豪雨災害が発生し、被災対応とその後の地区防災活動の取組の推進役を担われました。その後、平成25年に防災士を取得。昨年、『防府市防災士等連絡協議会』を立ち上げ、会長に就任。地区リーダーと一緒に防災活動を展開されています。

Q 防災士になったきっかけを教えてください。

平成5年の8月2日正午前、猛烈な雨が浮野峠を襲い、7本の土石流が発生。消防車が到着した夕方5時まで、集まってきた住民で、一人暮らし高齢者の安否確認をし、緊迫した数時間を過ごしたことが防災士に携わる発端となったと思います。

また、平成21年7月中国・九州北部豪雨は、さらに威力を増して防府市を襲いました。

地域や住民の命を守るには何が必要かと思い、平成25年に防災士になりました。

Q 防府市防災士等連絡協議会について教えてください。

本協議会には、会長、副会長、事務局長、女性理事3名に加え、市内15の地区に地域理事がいます。

市防災危機管理課と「自主防災組織等活動支援事業委託契約」を締結し、市民のみなさんに対する防災出前講座の共催開催等の活動を行っています。

各地区の防災士は、防災に関する相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

Q 市民のみなさんに伝えたいことをお願いします。

「災害は忘れんうちに、またやってくる」時代となってきました。

防災では、まずは「自助（めえーめの命はめえーめで守る）」で対応し、次に「共助（地域や職場でお助けあい）」に加え、「互近助（近所同士で助けあう）」がもっと大切になってきます。

「自助・共助・互近助」は、防災だけに限らず、地域の福祉力向上のための手段としても有効だと思います。「災害に強いまちづくり」や「明るく住みやすいまちづくり」をみんなで創っていきませんか。

Q いつもお元気ですね。秘訣を教えてください。

「半世紀前から、教を乞いお世話になった方々と地域に恩返しをしたい」と常々思っています。

防災活動に携わっているのもそのひとつで、高齢者の集いなどで、「楽しくわかりやすい防災のお話し会」に出向いています。地域のみなさんとのつながりが元気人（本人曰く、“げんきびと”）の秘訣になっています。

記事担当：防府市社会福祉協議会

防府市生涯学習課



『放課後子ども教室』を紹介します！

『放課後子ども教室』とは？

子どもたちが、放課後などを安全・安心に過ごせるように、小学校の余裕教室などを活用して地域と学校が連携・協働して学習やさまざまな体験・交流活動をしています。すべての子どもが対象ですが、応募多数の場合、抽選となる教室もあります。



どんな活動をしているの？

学習活動、生け花などの文化芸術活動、恵方巻き作りなどの料理活動、ペタンクなどのスポーツ活動、その他、校外活動もあります。地域の方が指導者として活躍されている教室もあります。活動内容は、教室によって異なります。



今年度の活動は？

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2学期から開講予定の教室が多数となりました。1学期に開講した小野放課後子ども教室の活動を紹介します。

6月に行われた『田植え』は、お天気が心配されていましたが雨は降らず、地域の方のご協力のもと、三密に注意し、消毒などコロナ対策を万全にして、行われました。慣れないぬかるみの中、泥だらけになりながら、みんな楽しんでいました。収穫が楽しみです！



報告♪ ほうふ幸せます人材バンク

指導者バンク登録講師 藤井 一行 さん「竹ヒゴで風車を作ろう」

8月19日（水）牟礼公民館で開催された家庭教育学級で、藤井一行さんが、大人9名、幼児8名の参加者に、竹細工での風車作りの指導をされました。新型コロナウイルスの感染予防のため、フェイスシールドを着けての指導になりました。

初めに、藤井さんが「竹細工は日本の伝統工芸で、昭和の半ば頃までは、生活の中で普通に使われていました」と話されました。

風車の羽根の芯の部分は、8本の竹ヒゴを編んで作ります。複雑な編み方ですが、何度もやり直しながらも全員が完成させました。



次に、色紙や千代紙で羽根を作り、ひし形に付け、支え竹にセットして、ビーズを先端に付けたら出来上がりです。

参加者からは、「難しかったけど、うまく出来上がったので、達成感があります」「初めての経験で面白かった。次は、カゴを作りたいです」などの感想がありました。藤井さんは、「みなさん、やる気と熱意があり、自分で最後まで作り上げられて、驚きました」と言われていました。

くると、よく回る風車を手に持って帰る子どもたちはみんな、とてもうれしそうでした。





被災地を救おう！ 令和2年7月豪雨災害 義援金 の募集について

7月に発生した豪雨災害により、多くの県で人的被害、停電、断水、家屋の浸水などの甚大な被害が発生しました。この災害により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

中央共同募金会及び各県（熊本、福岡、鹿児島、岐阜、大分、佐賀、島根、山形、長野）の共同募金会では、被災された方々を支援することを目的に義援金を募集しています。

防府市共同募金委員会（防府市社会福祉協議会内）においても義援金を募集しております。みなさまのあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願いします。

義援金が被災者に届けられるまで

個人・法人
からの義援金

防府市共同募金委員
会でお預かりし、被
災県へ送金します。

被災した県が設置す
る義援金配分委員
会で対象範囲・金額な
どを決定します。

被災市区町村を通じ
て被災された方々へ
届きます。

～送り方の詳細～

○令和2年7月豪雨災害で被災された方々に送りたい場合

受け付けた義援金は、被災県の被災状況に応じた按分率に基づき、被災者へ送金されます。

○特定の被災県に送りたい場合

直接お持ちいただくと、寄付をしたい希望の被災県をお聞きし、その指定の県へ義援金を送金します。

※どちらも防府市社会福祉協議会窓口にて募金箱を設置しております。

詳しくは山口県共同募金会のホームページをご覧ください。



ボランティアコーナー

ボランティアコーナーでは、ボランティアアドバイザーによる、ボランティアに関する相談や情報提供を随時行っています！開催日は下記表をご覧ください。どうぞお気軽にお越しください♪

9月	4日(金)	7日(月)	11日(金)	14日(月)	18日(金)	25日(金)	28日(月)		
10月	2日(金)	5日(月)	9日(金)	12日(月)	16日(金)	19日(月)	23日(金)	26日(月)	30日(金)
11月	2日(月)	6日(金)	9日(月)	13日(金)	16日(月)	20日(金)	27日(金)	30日(月)	



★イベント情報★

ちりめんを使ってフクロウを作ってみませんか？

【時 間】各日 13:00～16:00 の間

【場 所】ボランティアコーナー（防府市文化福祉会館 2 階 16 号）

【参加費】無料 【対 象】小学生以上 【定 員】各日 5 名 ※先着順 ※要申込み



フードバンク山口 ほうふステーション

防府市地域協働支援センター（ルルサス防府2階）に 開設！



『特定非営利活動法人市民活動さぼーとねっと』が『特定非営利活動法人フードバンク山口』との協定を結び、防府市でフードバンク(※)事業をすすめていく拠点となる『フードバンク山口 ほうふステーション』を開設しました。

(※) フードバンクとは、安全に食べられるのに消費されない食品を、企業や個人から寄贈してもらい、必要としている施設や団体、世帯に無償で提供する活動です。

高校生やボランティアが活躍中です！

市内には、地域協働支援センター、アルク防府店・中関店・三田尻店、ユアーズバリュー右田店・仁井令店の6ヶ所にフードバンクポストが設置されており、市民の方から寄付された食品を、ボランティアの方が定期的に回収されています。また、防府商工高校の生徒が毎週、授業の一環で、回収された食品の記録や仕分けなどの作業を行っています。



市内在住の外国人の支援にも活用されています！

8月2日(日)、地域協働支援センターにて、『青年海外協力隊山口県OB会』が、市内在住の外国人の方に食品の無料配布を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で仕事やアルバイトが少なくなったりしていると聞き、少しでもそういった方の助けになればという思いで開催しました。また、外国人の方には地域の情報がなかなか届きにくいとため、理解しやすい平易な表現を使つての情報発信を行っている Facebook ページを、この機会に知ってもらうという狙いもありました。



この配布会は、県内5ヶ所(下関、周南、山口、宇部、防府)で、『赤い羽根 子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン』の助成を受けて開催されました。防府の会場には、約50名の外国人の方が来られ、「技能実習の期間が終わったのに国に帰れず、お金が減っていくばかり」、「ホテルでバイトをしていたが、出勤時間が減って、収入も減ってしまった」などといった切実な声もありました。そのような中での無料配布に、みなさん喜ばれていました。

information

時 間 場 所 内 容 対 象 人 定 員 ￥ 参加費 持 持参物 申 申込み 問 問合せ

9 / 7 (月) Web会議・講演会主催者向け スキルアップ講座

時 14:00～16:30
場 市地域協働支援センター研修室2
内 【講 義】Zoomを活用するための
 ①基礎知識 ②準備 ③注意点
 【ワーク】計画を立てよう
 ★開催までのアフターフォローあり
人 5団体 **￥** 3,000円 ※同団体2人目以降500円
持 パソコンまたはタブレット（スマホも可）
問 市民活動支援センター

10/7～ 11/18 点訳講習会 毎週(水)全6回

時 19:00～20:50
 (11/11は復習日)
場 市身体障害者福祉センター
対 点訳に興味があり全課程に出席できる方
 (初心者歓迎)、訳ボランティアに興味の
 ある方及び以前講習を受けられた方
￥ 580円(テキスト代)
申 市身体障害者福祉センター
 TEL (0835) 23-6625

10/8(木) 地域の福祉・介護を支える 14(水) 「介護助手」についての説明会

時 8日(木) 14:00～15:00
 14日(水) 11:00～12:00
場 8日(木) 大道公民館
 14日(水) 牟礼公民館
内 福祉施設・事業所と一緒に地域住民向けの
 説明会を実施します。
対 元気な高齢者や地域のみなさん
申 不要
問 山口県福祉人材センター
 TEL 083-922-6200

10/17(土) 24(土) 31(土) ほうふ市民活動フェスタ2020 出合い・つながる3days

時 10:00～14:00
場 市地域協働支援センターロビー
内 活動展示、販売、体験など
 【参加団体】エコー防府/グリーンサポート
 やまぐち/子ども家庭支援センター“海
 北”/古文書を読む会/ちーずぱりん/防府
 市母親クラブ連絡協議会/ほうふ天神なご
 み市「和らび」/山口県退職公務員連盟防
 府支部 福祉部(※変更の可能性あり)
問 市民活動支援センター

10/21(水) 指導者バンク登録者による公開講座 わくわく学び塾 第1回

時 10:00～11:30
場 市文化福祉会館3階9号
内 幸せの実 ブッダナッツを作ろう
 講師：重村 雅代 さん
対 市内在住・在勤・在学の方
人 15名(先着順)
￥ 2,000円(材料費) **持** はさみ
申 10月1日(木)～16日(金)受付
問 生涯学習課 生涯学習係

11/6(金) 令和2年度 防府市人権学習講演会

時 14:00～
場 アスピラート3階音楽ホール
内 演題：個性を伸ばして生きる
 ～算数0点から新聞記者に～
 講師：大橋 広宣 さん(フリーライター)
人 300名(先着順) **￥** 無料
申 9月28日(月)～10月16日(金)受付
問 生涯学習課 人権学習室
 TEL (0835) 23-3016

編 集 後 記

コロナ禍の中、最近、県内や市内を堪能
 しています。35年ぶりに野島へ船で行
 き、一人旅気分♪みなさんも防府の良さ
 を探してみても、やっぱり遠くへ
 行きたーいと思う今日この頃です。(H)

『まなぼら』は、3機関が協働で編集している情報紙です。
 発行月は6月・9月・12月・3月です。

ある島に、「春夏秋冬」の看板のお店があ
 ります。「秋が無い…」「あきない…」で、
 “商い中”とのこと。“商いとコロナ”が両
 立する秋を願い、団子をいっぱい食べて
 元気を出していきましょう。(M)

オンラインを使って“ハイブリット型”
 の研修会を開催してみたい！という団
 体さんからのご相談が増えています。便
 利な機材やアプリの機能など、あれこれ
 試すのが最近のマイブームです♪(H)

防府市教育委員会教育部生涯学習課 生涯学習相談コーナー

☎ 747-0026
 防府市緑町1丁目9-2
 防府市文化福祉会館内1階10号
 ☎ (0835)23-3015
 ☎ (0835)38-8131
 ✉ shougai@city.hofu.yamaguchi.jp



防府市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

☎ 747-0026
 防府市緑町1丁目9-2
 防府市文化福祉会館内1階14号
 ☎ (0835)22-3907
 ☎ (0835)25-1388
 ✉ fureai-net@hofushishakyo.jp



防府市市民活動支援センター

☎ 747-0035
 防府市栄町1丁目5-1
 ルルス防府2階
 ☎ (0835)38-4422
 ☎ (0835)24-7733
 ✉ ehofu@trust.ocn.ne.jp

